

PHJ メールニュース 2010年8月号

送信日時：2010年8月27日



PHJ メールニュース読者の皆様

8月末になっても真夏の陽射しがまぶしいこのごろです。皆様お元気ですか？PHJ メールニュース 2010年8月号を配信いたします。

PHJ メールニュースはPHJの活動を支援してくださっている皆様に本部、タイ、インドネシア、カンボジアでの活動をより広く深く知っていただくために毎月メールでご報告するものです。

このメールニュースは配信を希望するとの連絡を送っていただいた方々、PHJ運営委員（オブザーバーとして出席されている方を含む）の方々、およびPHJを支援してくださっている方々にお送りしています。

---

#### PHJ メールニュース 8月号目次

##### 1. PHJ 本部のニュース

- 1-1. 第15理事会・総会を開催しました
- 1-2. 2011 チャリティカレンダー
- 1-3. カンボジアのお産事情、PHJの活動を企業のセミナーで紹介しました
- 1-4. 「なんとかしなきゃ！」プロジェクトに参加しています
- 1-5. STAND UP キャンペーンに参加しています

##### 2. PHJ タイ事務所のニュース

- 2-1. 障がい児支援教育（HOPEパートナー）事業
- 2-2. ラーニングセンター

##### 3. PHJ インドネシア事務所のニュース

- 3-1. 栄養改善活動 — トウンダ島
- 3-2. 栄養改善活動 — 集中栄養治療研修

##### 4. PHJ カンボジア事務所のニュース

- 4-1. 母子健康手帳の抜き打ちチェック — コンポントム

#### 4-2. カレンダーのための民話収集とお絵かき

#### 4-3. 医学生の訪問

\*\*\*\*\*

### 1. PHJ 本部のニュース

#### 1-1. 第 15 回 理事会・総会を開催しました

8 月 19 日に第 15 回理事会と正会員の総会を開催しました。出席された理事からは個人賛助会員を増やす努力についての提案や 2011 年度の資金と事業活動の内容についての質問など活発な発言がありました。その後理事会、正会員総会で 2010 年度事業報告と 2011 年度事業計画が承認されました。また理事 2 名の退任、新理事 2 名の選任、監事の退任と新監事の選任も承認されました。詳細は 10 月 1 日発行のホープニュース 54 号に掲載いたします。

#### 1-2. 2011 チャリティカレンダー

7 月号でお知らせした「アジアのおはなしカレンダー」はおとぎ話に基づくすばらしい絵が沢山とどき、カレンダーの作成は順調にすすんでおります。

#### 1-3. カンボジアのお産事情、PHJ の活動を企業のセミナーで紹介しました

8 月 20 日 日本 GE 社の Women's Network のセミナーで PHJ の活動を紹介する機会をいただきました。カンボジアの中田所長がコンポントム州でのお産事情についてスライドや統計を使って説明し、インドネシア、タイの活動については伊藤所長、ジラナン所長がそれぞれ説明いたしました。参加者は国際貢献、アジアの保健事情について強い関心を持った方ばかりで真剣にプレゼンテーションに聞き入ってくださいました。今後も PHJ のほかの活動を紹介させていただきたいと考えています。

#### 1-4. 「なんとかしなきゃ！」プロジェクトに参加しています

開発途上国は多くの課題を抱えています。それを一人でも多くの方に知ってもらい、その解決をめざす国際協力の必要性を社会全体で共有して行きたい。そんな思いを共有する人、団体などで進めるのが 7 月 27 日にスタートした「なんとかしなきゃ！プロジェクト」です。

#### 1-5. STAND UP キャンペーンに参加しています

2006 年に始まった世界同時アクション STAND UP (スタンド・アップ) は、一人ひとりが立ち上がることで、MDGs の達成と貧困をなくしたいという意志を示し、各国の代表者たちに約束の実現を求めてきました。PHJ の活動も MDGs の 8 つの目標のうち、3 つ (4、5、6) に沿った活動を行っているため、人々の関心の輪を広げていくためこのキャンペーンに参加しています。

\*\*\*\*\*

## 2. PHJ タイ事務所のニュース

### 2-1. 障がい児支援教育 (HOPE パートナー) 事業

このプロジェクトでは2010年7月までの12年間に200名の患者を支援してきました。116名が卒業、16名が死亡、現在69名の患者を68名の里親が支援しています。7月はIQ/EQ (知能指数・心の知能指数)の発達コースをR I C D, チェンライ病院、サンサイ病院、サンパトン病院でのべ36の患者に実施しました。

### 2-2. ラーニングセンター

7月の利用者は95名で2009年12月からの利用者数は641名になりました。新しい試みとして発達障がいのある子供たちの家族に映画療法を使いました。自閉症の子供とサッカーのコーチであるメンターとの交流を通して障がいを改善する物語です。R I C Dのサマイ所長はこの療法を2011年度にとりいれたいと話しています。

\*\*\*\*\*

## 3. PHJ インドネシア事務所のニュース

### 3-1. 栄養改善活動 - トウンダ島

完成したトウンダ島 保健・保育センターでの初めてのPHJの活動として栄養教育&調理実習を実施しました。テーマは「豆腐」でティルタヤサ診療所で開催した第1回メニューコンテストのメニューの一部とトウンダ島で入手しやすい「魚」も取り入れました。前回のコンテストの反省からチームを結成し、準備から実施までチームが担当しました。参加した女性は非常に熱心で他の材料でも代用が可能ななどの質問もでました。22人の幼児が試食し、ほとんどが「美味しい」と話していました。

### 3-2. 栄養改善活動 - 集中栄養治療研修

6月下旬に実施した診療所医療従事者・村の助産師・ヘルスボランティアの国立栄養教育センターでの集中研修の報告・反省会を開催しました。参加者からは「非常に勉強になった」「今後に生かしてゆきたい」など前向きなコメントがありました。また研修を受け入れた施設側からは「ヘルスボランティアが参加するというので、ついてゆけるか心配したが、ほとんどのヘルスボランティアは既にいろいろな知識をもっていてとても驚いた。恐らく、PHJの活動のせいかなんでしょう」との嬉しい評価をいただきました。

\*\*\*\*\*

#### 4. PHJ カンボジア事務所のニュース

7月は保健省主催の研修や2週間の研修・会議などがあり、保健センターのスタッフは非常に忙しい月でした。PHJの活動は保健センターの業務の一部として行なっているため、忙しいなかでもきちんとこなせるように支援しています。

##### 4-1. 母子健康手帳の抜き打ちチェック - コンポントム

テイポウ保健センター、チュクサット保健センター管轄下の村で母親健康手帳のチェックを行いました。どちらのセンターも助産師の妊婦健診が改善されていることがわかりました。妊婦は自分に必要な保健教育を行っている助産師を信頼していることがわかりました。チュクサット保健センターでは体重計が壊れていたため情報が記入されていなかったり、胎児の心音や破傷風の注射の有無などの情報が漏れていたため、助産師に改善を求めました。これらの調査で村人が保健センターやサービスについて十分にりかいしていない点についてはPHJスタッフが教えて、保健センターの指導に従うよう進めています。

##### 4-2. カレンダーのための民話収集とお絵かき

アジアのおはなしカレンダーのためにコンポントム州の教師養成校で行ったコンテストの締め切りがあったので、PHJスタッフと図書館の先生たちで優秀5作品を選び、英語に訳して3作品に絞りました。選ばれた民話は60会の皆さんが支援するルッセイド小学校でのお絵かきの題材として使われました。7月19日に小学校でお絵かきを実施、既に夏休みにはいっているのに沢山の子どもが集まってくれました。作品のなかから良いものを選んで、日本語訳をつけて東京へ送りました。スタッフブログ [http://blog.livedoor.jp/ph\\_japan/](http://blog.livedoor.jp/ph_japan/) をご覧下さい

##### 4-3. 医学生の訪問

8月はじめに山口大学医学部医学科6年の大越猛さんともう1名の医学生がPHJカンボジア事務所を訪ねました。中田所長はじめスタッフが活動現場を案内しました。大越さんからはお礼のメッセージが届きました。

「。。。私はこれまで母子保健分野での国際保健協力の現場を見たことがありませんでしたが、今回の見学で、本当にたくさんのことを学ぶことができました。特に印象的だったのが、中田さんが現地スタッフと強固な信頼関係を築かれていて、現地スタッフの方々のモチベーションも高く、みなさんが誇りを持って仕事をされていたことです。そのように中田さんの熱心さがスタッフに伝わり、スタッフの熱心さが、PHJのカウンターパートである保健センターのナースや村のヘルスボランティアの方をはじめ様々な人に伝わっているのがわかりました。。。」

\*\*\*\*\*

---

■ クリック募金にご協力ください！

### イーココロ！クリック募金

ピープルズ・ホープ・ジャパンは募金サイト イーココロ！「クリックから世界が変わる、毎日無料でできるいいこと」に参加しています。

<http://www.ekokoro.jp/ngo/195/>

---

PHJ メールニュース 2010 年 8 月号を最後まで読んでいただきありがとうございます。  
このメールニュースへのご意見、ご要望は info@ph-japan.org までお送りください。  
次号の参考にさせていただきます。

またこのメールニュースの配信を希望されない方は info@ph-japan.org までメール  
ニュース配信不要とご連絡ください。

\*\*\*\*\*

発行者：

認定NPO法人

ピープルズ・ホープ・ジャパン

代表 木村 敏雄

広報 矢崎 祐子、南部 道子

〒180-8750

東京都武蔵野市中町 2-9-32

Tel:0422-52-5507 Fax:0422-52-7035

e-mail: info@ph-japan.org

URL: http://www.ph-japan.org

Copyright: 2010 ピープルズ・ホープ・ジャパン

\*\*\*\*\*